下川町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

下川町は、北海道の北部にあり、北見山脈と天塩山脈の間に位置し、その面積は644.20km2を有し、地域の東部からほぼ中央部を名寄川が西に貫流しており、気候は大陸的様相を呈し、夏期は比較的高温であるが、冬期間は著しく温度が低下し、その差は60度に及ぶこともある地域であり、町の面積の90%が森林地帯です。
当町は、人口の減少や車社会の到来により、公共交通の利用者が減少傾向にあり、運営は年々厳しさが増している状況にあります。その一方で高齢化率は4割弱と高く、交通弱者や交通空白地帯に住居する住民のための移動手段の確保をする必要性があります。
当町は、主要幹線である国道239号線が東西に長く走り、この幹線沿いに集落が多く張り付いていることから、集落間の距離を縮めるため地域住民の足としての町営バスの再編と乗合タクシーの導入を行っており、地域間幹線系統下川線・興部線に接続するフィーダー系統として、生活交通手段の確保を図っているところであります。
利用者の確保と住民ニーズに対応した輸送形態を維持していくため、アンケート調査を実施して利用区域からの要望に近い公共交通を目指していくことで、生活の利便性向上の一端を担うことが可能となります。

地域公共交通の現況

・名士バス　２路線
（JR名寄本線廃止に伴う代替バス及び既存バス）
・コミュニティバス
（班渓線）まちなか（南町、西町、緑町、旭町、錦町、幸町、共栄町）

生活交通確保維持改善計画の目標

［地域公共交通の満足度］
2系統、目標値　良いともタクシー　98.0%　　班渓線　100%
［利用人数］
◆良いともタクシー　合計　目標値　11,310人/年
・班渓　目標値　1,294人/年　　・渓和　目標値　189人/年
・北町　目標値　184人/年　　・まちなか　目標値　7,707人/年
・上名寄　目標値　939人/年
・一の橋　二の橋　三の橋　目標値　997人/年
◆班渓線　目標値　5,230人/年

協議会開催状況

◆令和2年5月22日　第1回地域公共交通会議（書面）の開催
・生活サポート地域公共交通再編後の利用状況及びアンケート調査結果の報告
・生活交通確保維持計画(地域内フィーダー系統)の承認
◆令和3年1月7日　第2回地域公共交通会議(書面)の開催
・「令和2年度地域公共交通確保維持改善事業（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」に係る事業評価の内容について
・「平成30年度地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)」に係る事業評価の内容について
◆令和3年6月9日　第1回地域公共交通会議（書面）の開催
・生活サポート地域公共交通再編後の利用状況及びアンケート調査結果の報告
・生活交通確保維持計画(地域内フィーダー系統)の承認
◆令和4年1月11日　第2回地域公共交通会議(書面)の開催
・「令和3年度地域公共交通確保維持改善事業（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」に係る事業評価の内容について

令和３年度事業概要

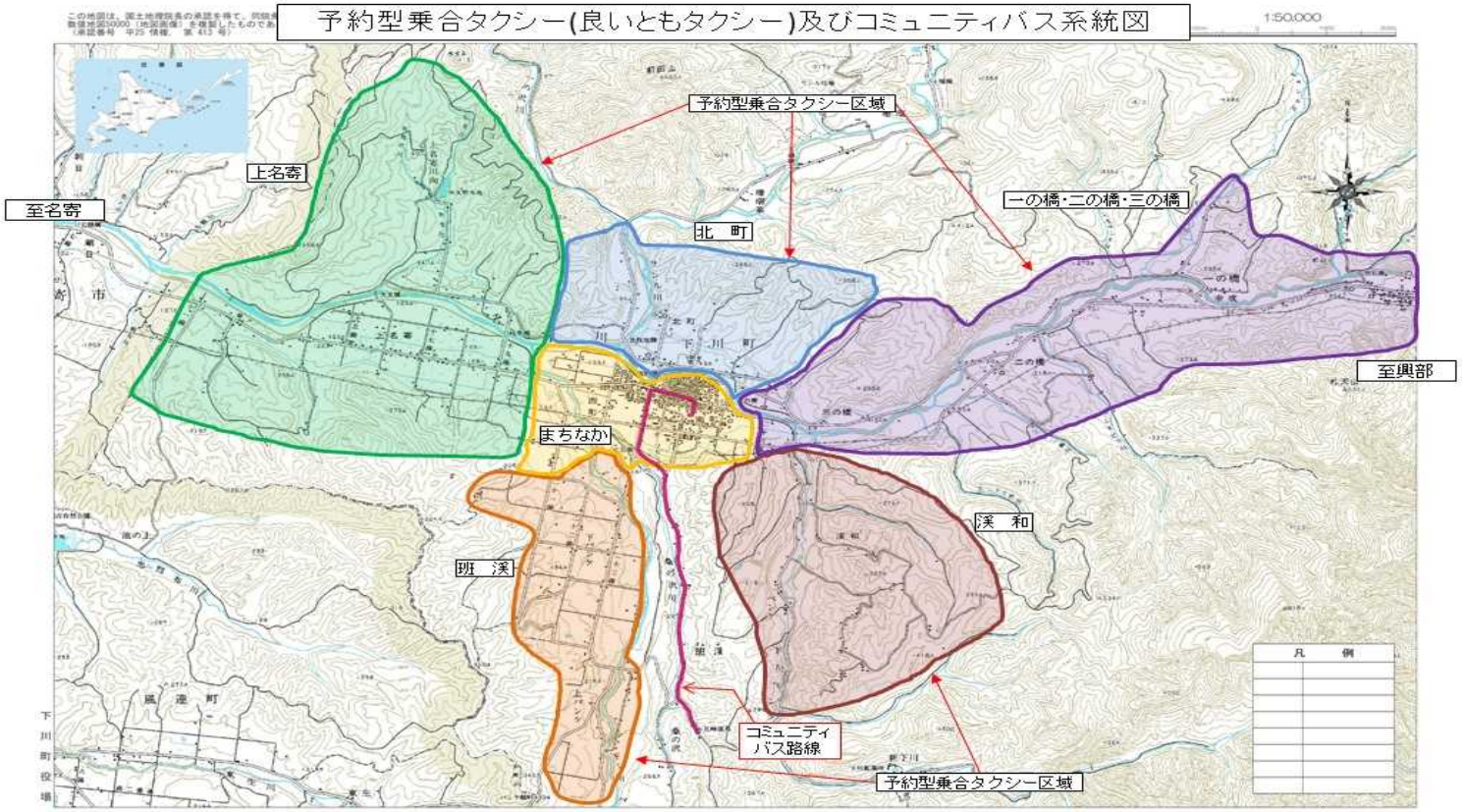
町営バス再編に伴う予約型乗合タクシー導入
◆良いともタクシー（6区域）
①班渓　②渓和　③北町　④まちなか（南町・西町・緑町・旭町・錦町・幸町・共栄町）⑤上名寄　⑥一の橋・二の橋・三の橋
（平日・土曜日～５便、日曜日・祝日～３便／料金：⑥の内一の橋500円、⑤及び⑥の内二の橋400円、①②及び⑥の内三の橋300円、③④200円）※小学生半額、未就学児は無料
◆班渓線（平日・土曜日～５便、日曜日～４便／料金：まちなか乗車200円、自由乗降区間100円）※小学生半額、未就学児は無料

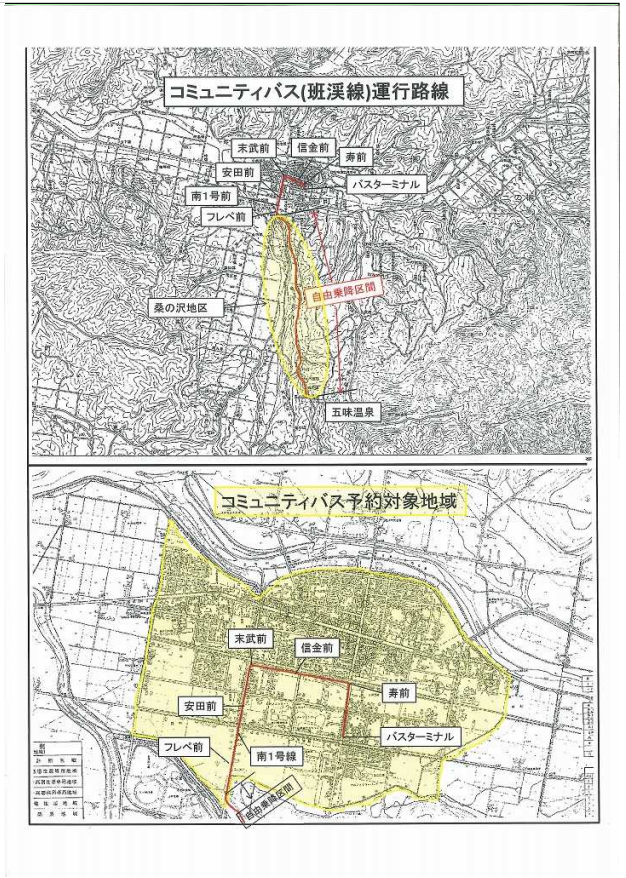
令和３年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

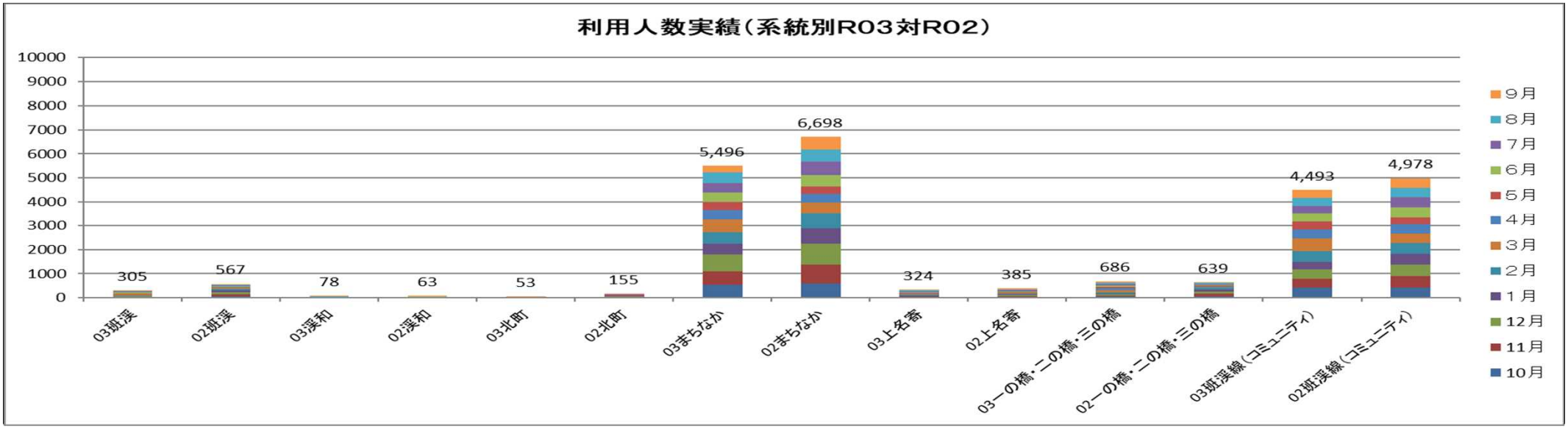
予約型乗合タクシーの導入については、地域住民になじみのないシステムのため、住民説明会を実施し、平成２６年１０月には一部運行区間を追加し全区間運行を実施している。
令和３年度は、乗車率の向上や利用者の確保を図るため町広報誌で予約型乗合タクシーの利用方法の周知を行っており、また、地域懇談会やサロンなどでの利用啓発や、併せてアンケート調査を実施したため、その結果を踏まえ次年度以降の改善の検討を進める。

２）運行系統

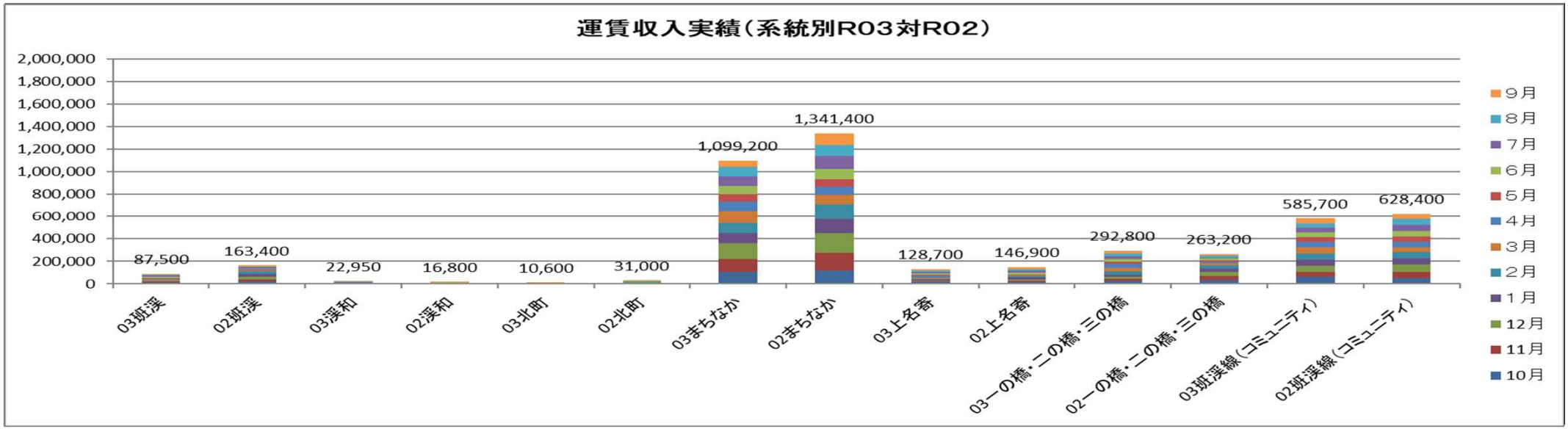




３）利用実績


利用人数実績（系統別R03対R02）
10000
9000
8000
7000
6000
5000
4000
3000
2000
1000
0
305
567
78
63
53
155
5,496
6,698
324
385
686
639
4,493
4,978
03班渓
02班渓
03渓和
02渓和
03北町
02北町
03まちなか
02まちなか
03上名寄
02上名寄
03一の橋・二の橋・三の橋
02一の橋・二の橋・三の橋
03班渓線（コミュニティ）
02班渓線（コミュニティ）
９月
８月
７月
６月
５月
４月
３月
２月
１月
12月
11月
10月

４）収入実績


運賃収入実績（系統別R03対R02）
2,000,000
1,800,000
1,600,000
1,400,000
1,200,000
1,000,000
800,000
600,000
400,000
200,000
0
87,500
163,400
22,950
16,800
10,600
31,000
1,099,200
1,341,400
128,700
146,900
292,800
263,200
585,700
628,400
03班渓
02班渓
03渓和
02渓和
03北町
02北町
03まちなか
02まちなか
03上名寄
02上名寄
03一の橋・二の橋・三の橋
02一の橋・二の橋・三の橋
03班渓線（コミュニティ）
02班渓線（コミュニティ）
９月
８月
７月
６月
５月
４月
３月
２月
１月
12月
11月
10月

5）事業実施の適切性

計画に位置づけられたとおりに実施した。

6）目標・効果達成状況

［地域公共交通の満足度］

良いともタクシーは98.0%、班渓線は100%の目標値のところ、実績は、良いともタクシーで95.8%、班渓線で100.0%であった。

［利用人数］

◆良いともタクシー

合計　目標値11,310人/年に対し、実績6,942人/年(61.3%)

①班　　渓　目標値1,294人/年に対し、実績　305人/年(23.5%)

②渓　　和　目標値　189人/年に対し、実績　　78人/年(41.2%)

③北　　町　目標値　184人/年に対し、実績　　53人/年(28.8%)

④まちなか　目標値7,707人/年に対し、実績5,496人/年(71.3%)

⑤上 名 寄　目標値　939人/年に対し、実績　324人/年(34.5%)

⑥一の橋・二の橋・三の橋

目標値　997人/年に対し、実績　686人/年(68.8%)

◆班渓線　目標値5,230人/年に対し、実績4,493人/年(85.9%)

［効果］

交通弱者や交通空白地帯を解消するとともに、高齢者等の移動負担を軽減し、日常生活に必要不可欠な生活の足を確保することができ、一定程度の成果は達成できたものと考えている。

しかし、本年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止のための外出自粛の影響により、地域によっては利用人数が目標値を大きく下回る結果となっている。

7）事業の今後の改善点

アンケート調査による地域公共交通の満足度は概ね高く、地域の公共交通としての役割は一定程度果たしているものと思う。

しかし、日常的な利用者の市街地転居や町外転出などにより年々利用人数は低下してきている状況ではあったが、今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響による利用者の減少が大きく、緊急事態宣言等の解除後も利用は低迷しており、今後ともその影響を見極める必要がある。

また、今後も効率的な運行ルートの設定と国庫補助金の活用により安定的な運行を目指していく。

8）地方運輸局における二次評価結果

（令和4年度分と併せて評価）